

横浜市西口駅前広場再整備に係る市民意見募集 結果

1 市民意見募集の概要

(1) 期間

平成 29 年 6 月 12 日から平成 29 年 7 月 12 日まで

(2) 意見等聴取方法

ア 計画概要を記載したパンフレットを配布及び配架し、パンフレット付属ハガキで意見聴取を行った。

イ 当課のホームページ内でパンフレットを公表するとともに、電子申請にてホームページ内で意見聴取を行った。

2 意見募集集計結果

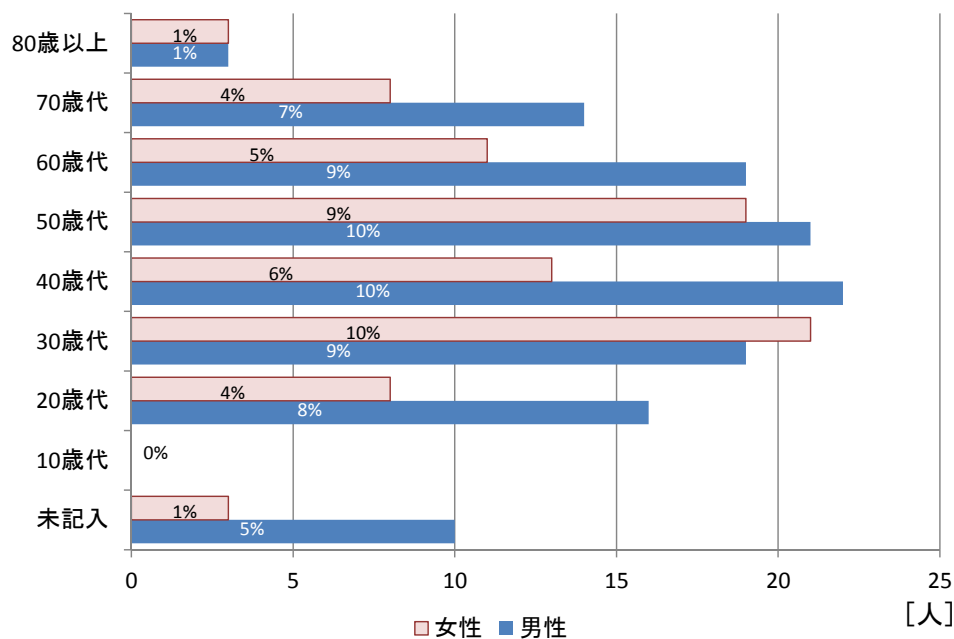
(1) 回答数

以下に、回答数を示す。男性が 59%、女性が 41%で男性の回答数が多い。また、男性の方が、電子申請を使用する傾向がみられた。

	男性	女性	不明	計
ハガキ	48	44	2	94
電子申請	76	42	0	118
計	124	86	2	212

(2) 男女別年齢構成

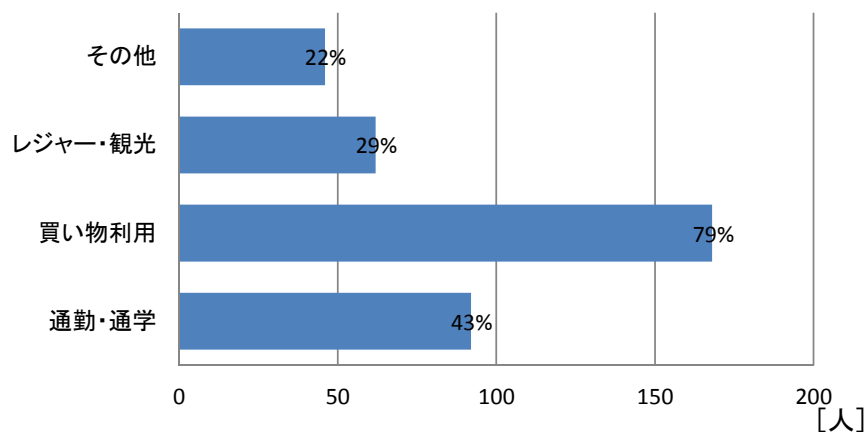
以下に、回答の男女別年齢構成を示す。40 歳代、50 歳代の男性と 30 歳代女性の回答が多い傾向がある。



(3) 横浜駅の利用目的

以下に、横浜駅の利用目的を示す。買い物利用が79%で最も多く、通勤・通学利用が43%であった。通勤・通学利用の76%が通勤・通学以外の用途でも横浜駅を利用すると回答した。

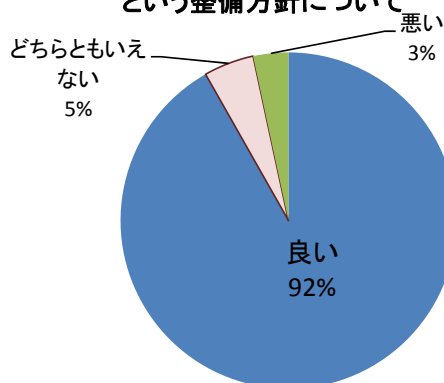
横浜駅の利用目的(複数回答可)



(4) 整備方針について

以下に、「横浜の玄関口として人に優しい駅前空間をつくる」という整備方針についての意見を示す。良いが92%、どちらともいえないが5%、悪いが3%であった。「誰にとって、何をもって優しいのか分からない。定義が曖昧である」「人通りが多いため余計なスペースはいらない」などの理由より悪いという意見があった。

「横浜の玄関口として人に優しい駅前空間をつくる」 という整備方針について

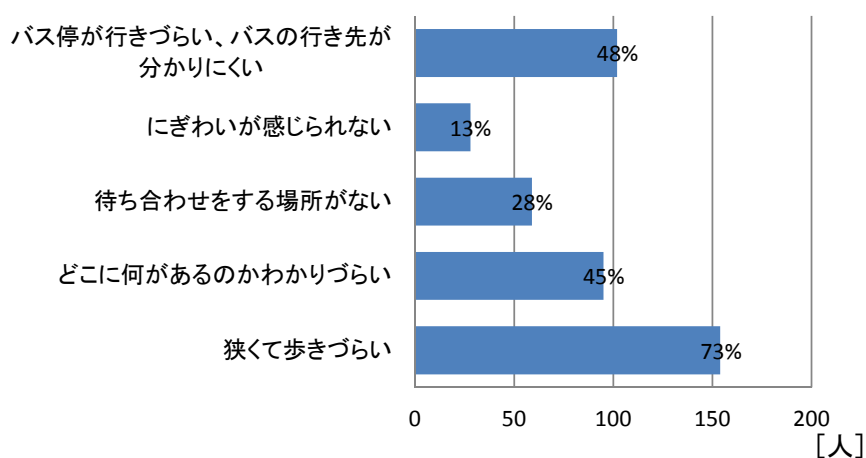


(5) 西口駅前広場の問題だと感じる点

以下に、西口駅前広場の問題だと感じる点を示す。狭くて歩きづらいという回答が73%と最も多く、バス停が行きづらい、行き先が分かりにくいという回答が48%、どこに何があるのかわかりづらいという回答が45%という結果であった。

狭くて歩きづらい、待ち合わせをする場所がない等の回答が多いことから、歩行者と待ち合わせの利用者を分ける必要がある。どこに何があるのかわかりづらい、バス停が行きづらい、行き先が分かりにくいという回答も多いため情報提供の方法や内容について検討する必要がある。

西口駅前広場の問題だと感じる点(複数回答可)



以下にその他の回答を示す。

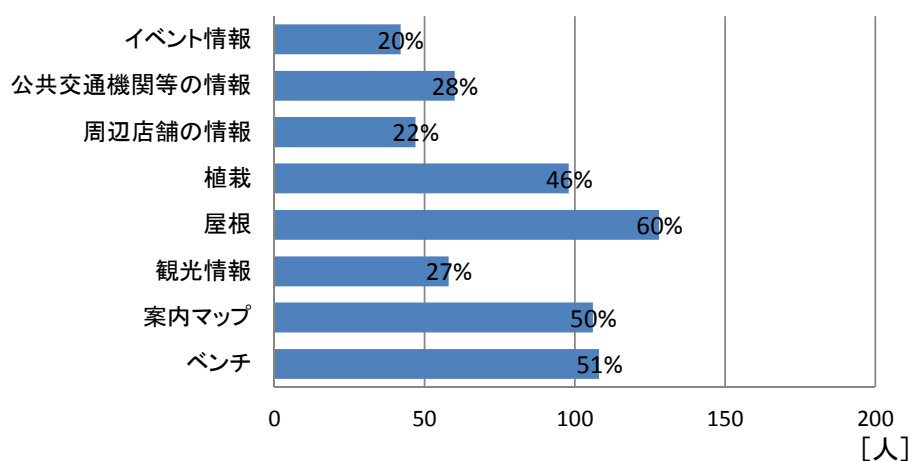
歩行導線が分かりにくい、ごちゃごちゃしているなど歩きにくいことに対する回答	25件
駅前広場の空間にゆとりがないことや玄関口の整備に対する回答	17件
バリアフリーの整備が不十分なことに対する回答	12件
工事に対する回答	8件
喫煙所、喫煙者に対する回答	3件
トイレに対する回答	3件
施設がないことに対する回答	3件
休憩スペースがないことに対する回答	2件
その他	5件

選択肢での回答とその他の回答共に、歩きにくいことを問題だと感じている利用者が多いことが分かった。また駅前空間が狭く歩きにくいことやゆとりがないことも問題視されている。

(6) 西口駅前広場にあるとよいもの

以下に、西口駅前広場にあるとよいものを示す。屋根という回答が60%と最も多く、次いでベンチが51%、案内マップが50%、植栽が46%という結果であり、駅前広場で待ち合わせや休憩などのスペースが求められていることが分かる。また案内マップ、公共交通機関等の情報があるとよいという声が多いため、分かりやすい情報提供の検討が必要である。

西口駅前広場にあるとよいもの(複数回答可)



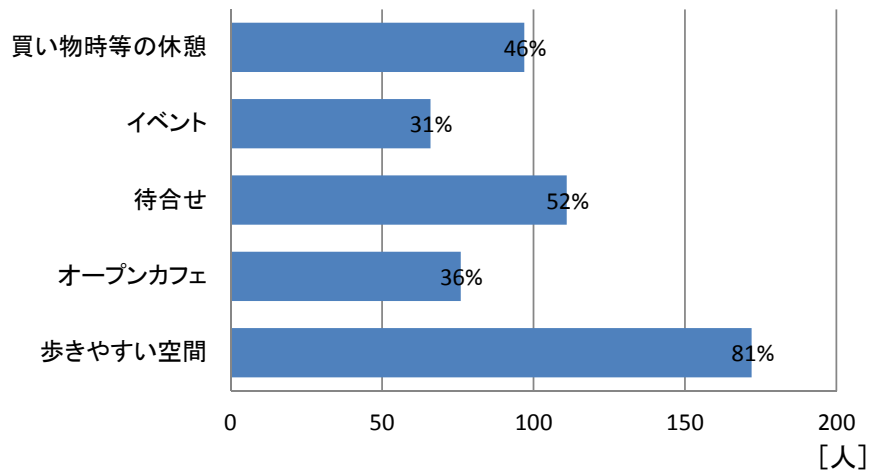
以下にその他の回答を示す。

待ち合わせ時の目印になる モニュメントやアート	13件	動く歩道	1件
過ごしやすい空間	7件	時計	1件
トイレ	6件	広い歩道	1件
日差しを遮る屋根	4件	バス待合所	1件
分かりやすい案内	4件	英語案内	1件
警備員	2件	ミストファン	1件
緑	2件	赤ちゃん休憩所	1件
災害時の避難誘導	2件	オープンカフェ	1件
Wifi 整備	2件	ペDESTリアンデッキ	1件
パブリックビューイング	1件	バスロケーションシステム	1件
スクリーン	1件		

(7) 西口駅前広場をどのように使いたいか

以下に、西口駅前広場をどのように使いたいかを示す。歩きやすい空間という回答が81%と最も多く、次いで待ち合わせが52%、買い物時の休憩が46%という結果であり、歩きやすい空間の整備が求められている。また、オープンカフェが36%、イベント空間が31%という回答が得られた。駅前広場での待ち合わせ場所や休憩などのスペース等を整備し利用空間を分けることで、歩きやすい空間整備を行うことも今度検討が必要である。

西口駅前広場をどのように使いたいか(複数回答可)



以下にその他の回答を示す。

過ごしやすいなどフリースペースとしての空間活用に関する回答	17件
イベント利用に関する回答	5件
天候に左右されない空間	3件
駅前広場を通過する歩きやすさに対する回答	2件
鉄道やバス利用時の歩きやすさに対する回答	2件
バリアフリーに対する回答	2件
災害時に対する回答	2件
自然や涼しさに対する回答	2件
空が感じられる空間	1件
分煙化	1件
施設の開業時期を早めてほしい	1件

3 通勤・通学を含む回答と通勤・通学以外の回答の差

(1) 回答数

以下に、回答数を示す。男性は通勤・通学を含む回答と含まない回答に差はなかったが、女性は35%が通勤・通学を含む利用で65%が通勤・通学以外の利用であった。

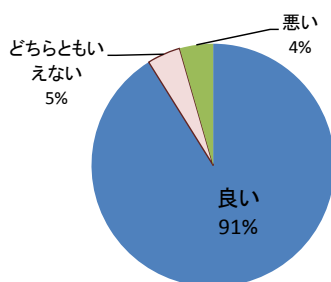
	男性	女性	不明	計
通勤・通学を含む	62	30	0	92
通勤・通学を含まない	62	56	2	120
計	124	86	2	212

(2) 整備方針について

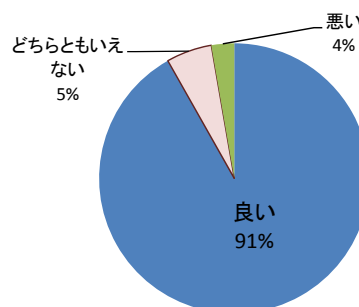
以下に、「横浜の玄関口として人に優しい駅前空間をつくる」という整備方針についての意見を示す。どちらの結果も変わらない結果であった。

「横浜の玄関口として人に優しい駅前空間をつくる」という整備方針について

(用途:通勤・通学を含む)



(用途:通勤・通学以外)

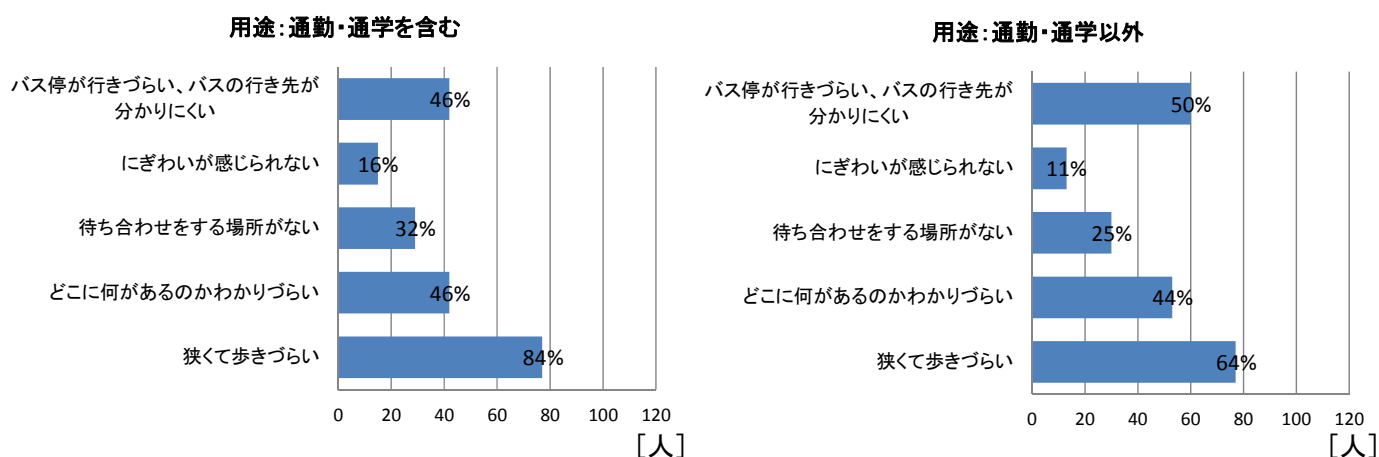


(3) 西口駅前広場の問題だと感じる点

以下に、西口駅前広場の問題だと感じる点を示す。どちらの用途も狭くて歩きづらいという回答が最も多く、バス停が行きづらい、行き先が分かりにくい、どこに何があるかわかりづらいという回答が次いで多い結果となった。

通勤・通学を含む利用者の方が、狭くて歩きづらい、待ち合わせをする場所がないと感じており、通勤・通学以外の利用者の方がバス停が行きづらい、バスの行き先が分かりにくいと感じている。

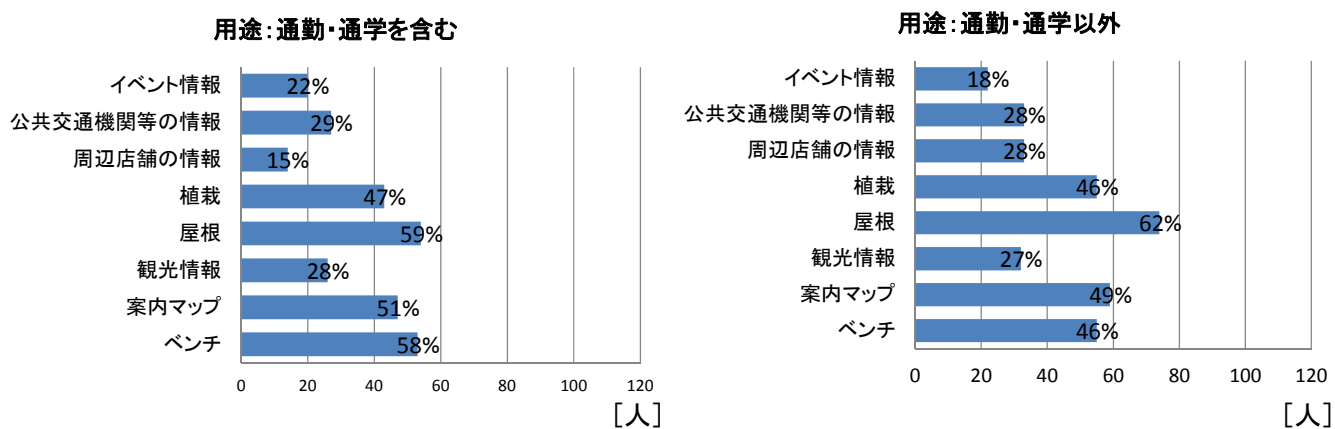
西口駅前広場の問題だと感じる点（複数回答）



(4) 西口駅前広場にあるとよいもの

以下に、西口駅前広場にあるとよいものを示す。通勤・通学利用者では屋根とベンチが59%、案内マップ51%であるとよいという結果であった。通勤・通学以外の利用者も屋根が62%で最も多く、次いで案内マップ、ベンチ、植栽があるという結果であった。

西口駅前広場にあるとよいもの（複数回答）



(5) 西口駅前広場をどのように使いたいのか

以下に、西口駅前広場をどのように使いたいかを示す。どちらの用途も歩きやすい空間という回答が最も多く、次いで待ち合わせ、買い物時の休憩という結果であり、歩きやすい空間の整備が求められている。

